

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第35週 （8月28日～9月3日）

## ★お知らせ

### ○RS ウイルス感染症に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第34週の2.47から第35週では3.70と増加しています。県全域から報告があり、幡多で減少していますが、須崎、中央西、安芸で急増、高知市、中央東で増加しています。

この病気は軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方で、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があるため注意が必要です。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

予防接種ワクチンはなく、患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。

#### ●厚生労働省 「RS ウイルス感染症 Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

### ○ヘルパンギーナに気を付けて

定点医療機関当たりの報告数は第34週の0.33から第35週では0.60と増加しています。中央東で急減、高知市で減少していますが、中央西で急増、幡多で増加し、中央西では注意報値を超えています。

ヘルパンギーナは、主にコクサッキーA群ウイルスの感染によって引き起こされる高熱と咽頭の水疱が特徴的な疾患です。

感染経路としては、飛まつ感染、接触感染、糞口感染が知られているので、以下のことに注意して感染予防しましょう。

#### <予防対策>

- 接触感染を予防するために大人も子どもも手洗いをしっかりとすること。（タオルの共有はしない）
- 排泄物を適切に処理し（塩素系漂白剤が消毒効果があります）、しっかりと手洗いをすること。
- 治った後も比較的長い間（2～4週間）便中にウイルスが排泄されるため日頃からの手洗いが大切

### ○咽頭結膜熱に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第34週の0.37から第35週では0.27と減少しています。中央西で急減、幡多で減少していますが、須崎、高知市で急増し、幡多では2週連続で注意報値を超えています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

#### 消毒方法

手指に対して：流水と石けんによる手洗い、および70%エタノール。

器具に対して：煮沸、次亜塩素酸ソーダ（消毒用エタノールでは消毒効果が弱く、逆性石けん、イソプロパノールには抵抗性なので注意）

また、プールを介しての流行はプールの塩素濃度を適正（遊離残留塩素濃度が0.4mg/l～1.0mg/l以下）に維持することが対策になります。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第34週の2.93から第35週では2.20と減少しています。中央西で急減、高知市、中央東、須崎で減少していますが、幡多で急増しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが7例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌を原因とする胃腸炎11例の報告もあります。

病原体検出情報では、第 35 週に搬入された検体で須崎から Norovirus G II NT が 2 件検出されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが 1 年を通して発生しています。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）調理をする場合は、十分加熱（85℃で 1 分以上）しましょう。

また、細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱（85℃で 1 分以上）は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけて下さい。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

### ☆野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便から SFTS ウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトが SFTS を発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

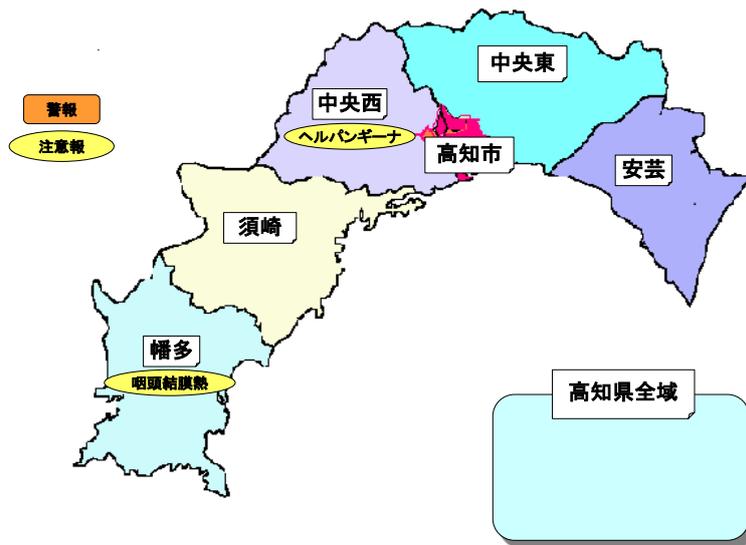
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
 35週（8月28日～9月3日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
RSウイルス感染症	<span style="color:magenta">↗</span>	3.70	幡多で減少していますが、須崎、中央西、安芸で急増、県全域、高知市、中央東で増加しています。
感染性胃腸炎	<span style="color:blue">↘</span>	2.20	中央西で急減、県全域、高知市、中央東、須崎で減少していますが、幡多で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:yellow">→</span>	0.87	中央東、中央西で急減していますが、幡多、安芸、須崎で急増しています。
ヘルパンギーナ	<span style="color:magenta">↗</span>	0.60	中央東で急減、高知市で減少していますが、中央西で急増、県全域、幡多で増加し、中央西では注意報値を超えています。
手足口病	<span style="color:blue">↘</span>	0.57	中央西、中央東、高知市、安芸で急減、県全域、幡多で減少していますが、須崎で急増しています。

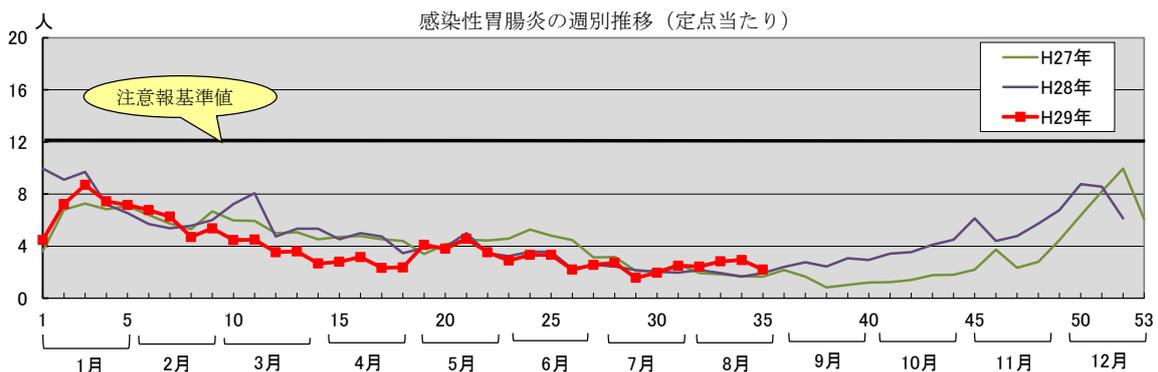
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

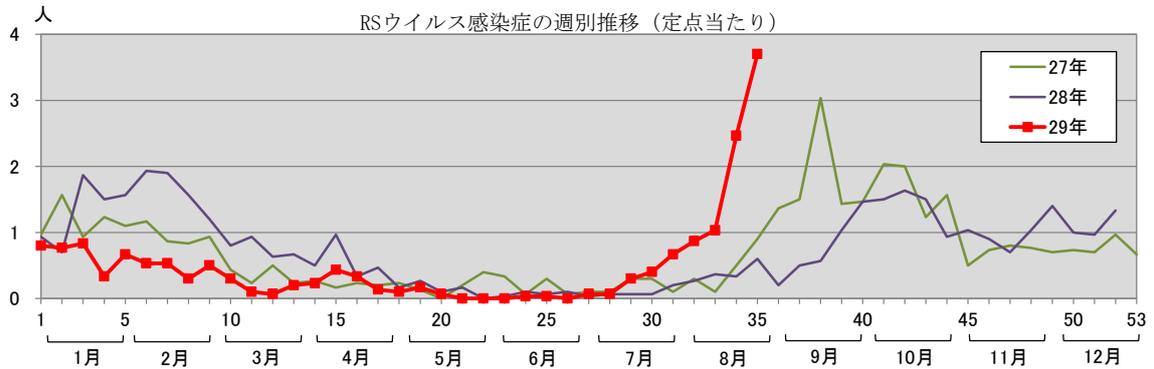
○感染性胃腸炎 第35週：2.20（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり2.20（前週：2.93）と減少しています。中央西0.00（前週：1.00）で急減、高知市3.09（前週：3.91）中央東2.57（前週：3.86）須崎2.50（前週：4.00）で減少していますが、幡多0.80（前週：0.40）で急増しています。



**〇RSウイルス感染症 第35週：3.70（注意報値：－ 警報値：－）**

定点医療機関からの報告数は定点あたり 3.70（前週：2.47）増加しています。幡多 2.60（前週：3.80）で減少していますが、須崎 3.50（前週：0.50）中央西 1.67（前週：0.00）安芸 1.00（前週：0.00）で急増、高知市 5.64（前週：3.73）中央東 3.14（前週：1.86）で増加しています。



**★全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	66	80歳代 男	高知市
		1		80歳代 男	須崎
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	14	60歳代 男	高知市

**★病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
35	手足口病	口内炎,	2	男	高知市	Cytomegalovirus Human herpes virus 6
35	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	須崎	Norovirus GII NT
35	感染性胃腸炎	37℃,下痢,	7ヶ月	女	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
30	-	37℃,発疹,	1	女	須崎	Adenovirus 2
30	不明発疹症	38℃,発疹,	2	女	高知市	Echovirus 9
32	無菌性髄膜炎	39℃,	0ヶ月	女	高知市	Echovirus 9
32	不明発疹症(顔面四肢型)	39℃,発疹,	3	男	須崎	Echovirus 9
33	感染性胃腸炎	37℃,下痢,	5	女	須崎	Adenovirus 41
33	感染性胃腸炎	嘔吐,嘔気,	11ヶ月	男	高知市	Coxsackievirus B4
33	インフルエンザ様疾患	39℃,下痢,	7	男	高知市	Echovirus 9
33	感染性胃腸炎	下痢,	7ヶ月	女	中央東	Echovirus 9
34	ヘルペス性歯肉口内炎?ヘルパンギーナ?	39℃,口内炎,	2	女	須崎	Human herpes virus 6
34	急性肺炎	38℃,肺炎,	1ヶ月	女	高知市	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎 E.coli O-167+カンピロバクター同時検出 1例(6歳) E.coli O-25 1例(2歳女)
	高知大学医学部付属病院小児科	大腸菌性髄膜炎+大腸菌敗血症 1例(3ヶ月男) アデノウイルス腸炎、腸重積 1例(1歳9ヶ月女)
高知市	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 10例 (2ヶ月男、3ヶ月男女、1歳男3人、1歳女2人、2歳男2人) ヒトメタニューモウイルス 1例(1歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	RSウイルス感染症 5例(1歳男2人、1歳女、2歳女、3歳男) 溶連菌感染症 5例 ヘルパンギーナ 1例(5歳男)
	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター+病原性大腸菌 O-1 腸炎 1例(13歳) カンピロバクター+病原性大腸炎 O-25 腸炎 1例(11歳) カンピロバクター腸炎 2例(4歳、12歳) サルモネラ O-9+病原性大腸菌 O-25 腸炎 1例(9歳) ヒトメタニューモウイルス気管支炎 1例(1歳)
	細木病院小児科	ノロウイルス 3例(0歳女、1歳女、4歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ 3例(2歳男：海外より帰省 2歳女2人：須崎市)
須崎	もりはた小児科	RSウイルス感染症 7例(3ヶ月1人、1歳6人) 感染性胃腸炎ノロ陽性 4例(8ヶ月、1歳2人、4歳)
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ 3例(6歳女、9歳男、12歳男)

★全国情報

第33号(8月14日～8月20日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核312例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症291例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎4例、重症熱性血小板減少症候群3例、つつが虫病1例、デング熱3例  
日本紅斑熱9例、マラリア3例、レジオネラ症42例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症32例  
急性脳炎7例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例  
後天性免疫不全症候群18例、侵襲性インフルエンザ菌感染症7例  
侵襲性肺炎球菌感染症23例、水痘(入院例に限る)3例、梅毒61例  
播種性クリプトコックス症1例、破傷風4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例  
風しん2例、麻しん4例

報告遅れ：デング熱1例、日本紅斑熱6例、レジオネラ症7例、レプトスピラ症2例

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性脳炎4例、水痘(入院例に限る)3例、  
梅毒51例、風しん2例

.....

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第35週 平成29年8月28日(月)～平成29年9月3日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第35週							計	前週	全国(34週)	高知県(35週未累計) H29/1/2～H29/9/3	全国(34週未累計) H29/1/2～H29/8/27
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ*	インフルエンザ				1				1 ( 0.02)	5 ( 0.10)	604 ( 0.12)	14,648 ( 305.17)	1,365,760 ( 276.36)	
小児科	咽頭結膜熱				2			1	5	8 ( 0.27)	11 ( 0.37)	1,395 ( 0.45)	290 ( 9.67)	59,397 ( 18.81)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1			16			1	8	26 ( 0.87)	26 ( 0.87)	3,551 ( 1.14)	1,899 ( 63.30)	248,930 ( 78.85)
	感染性胃腸炎	5	18		34			5	4	66 ( 2.20)	88 ( 2.93)	10,239 ( 3.28)	4,108 ( 136.93)	599,491 ( 189.89)
	水痘	1	1		3	2				7 ( 0.23)	7 ( 0.23)	649 ( 0.21)	429 ( 14.30)	38,419 ( 12.17)
	手足口病		2		3	2		2	8	17 ( 0.57)	34 ( 1.13)	18,339 ( 5.87)	2,996 ( 99.87)	245,515 ( 77.77)
	伝染性紅斑									( )	1 ( 0.03)	220 ( 0.07)	108 ( 3.60)	8,711 ( 2.76)
	突発性発疹	1			1				3	5 ( 0.17)	6 ( 0.20)	1,411 ( 0.45)	377 ( 12.57)	49,461 ( 15.67)
	百日咳									( )	( )	35 ( 0.01)	21 ( 0.70)	1,046 ( 0.33)
	ヘルパンギーナ				3	6			9	18 ( 0.60)	10 ( 0.33)	4,814 ( 1.54)	466 ( 15.53)	61,799 ( 19.58)
	流行性耳下腺炎				1					1 ( 0.03)	2 ( 0.07)	1,214 ( 0.39)	171 ( 5.70)	59,742 ( 18.92)
	RSウイルス感染症	2	22		62	5		7	13	111 ( 3.70)	74 ( 2.47)	6,601 ( 2.11)	511 ( 17.03)	52,410 ( 16.60)
	眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	16 ( 0.02)	( )	309 ( 0.45)
流行性角結膜炎					1				1 ( 0.33)	( )	744 ( 1.07)	12 ( 4.00)	16,034 ( 23.10)	
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	8 ( 0.02)	2 ( 0.25)	338 ( 0.71)	
	無菌性髄膜炎								( )	( )	27 ( 0.06)	7 ( 0.88)	621 ( 1.30)	
	マイコプラズマ肺炎								( )	1 ( 0.13)	125 ( 0.26)	71 ( 8.88)	5,164 ( 10.83)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	1 ( 0.13)	6 ( 0.01)	7 ( 0.88)	172 ( 0.36)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								( )	( )	2 ( )	86 ( 10.75)	4,842 ( 10.15)	
計(小児科定点当たり人数)	10 ( 5.00)	43 ( 6.14)	126 ( 11.32)	16 ( 5.34)	16 ( 8.00)	50 ( 10.00)	261 ( 8.66)		50,000	26,209 ( 684.37)	2,818,161			
前週(小児科定点当たり人数)	8 ( 4.00)	50 ( 7.09)	132 ( 11.71)	16 ( 5.33)	10 ( 5.00)	50 ( 10.00)		266 ( 8.73)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第35週							計	前週	全国(34週)	高知県(35週未累計) H29/1/2～H29/9/3	全国(34週未累計) H29/1/2～H29/8/27
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ*	インフルエンザ				0.06				0.02	0.10	0.12	305.17	276.36	
小児科	咽頭結膜熱				0.18			0.50	1.00	0.27	0.37	0.45	9.67	18.81
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50			1.45			0.50	1.60	0.87	0.87	1.14	63.30	78.85
	感染性胃腸炎	2.50	2.57		3.09			2.50	0.80	2.20	2.93	3.28	136.93	189.89
	水痘	0.50	0.14		0.27	0.67				0.23	0.23	0.21	14.30	12.17
	手足口病		0.29		0.27	0.67	1.00		1.60	0.57	1.13	5.87	99.87	77.77
	伝染性紅斑										0.03	0.07	3.60	2.76
	突発性発疹	0.50				0.33			0.60	0.17	0.20	0.45	12.57	15.67
	百日咳											0.01	0.70	0.33
	ヘルパンギーナ				0.27	2.00			1.80	0.60	0.33	1.54	15.53	19.58
	流行性耳下腺炎				0.09					0.03	0.07	0.39	5.70	18.92
	RSウイルス感染症	1.00	3.14		5.64	1.67		3.50	2.60	3.70	2.47	2.11	17.03	16.60
	眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.45
流行性角結膜炎					1.00				0.33		1.07	4.00	23.10	
基幹	細菌性髄膜炎										0.02	0.25	0.71	
	無菌性髄膜炎										0.06	0.88	1.30	
	マイコプラズマ肺炎									0.13	0.26	8.88	10.83	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.13	0.01	0.88	0.36	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)											10.75	10.15	
計(小児科定点当たり人数)	5.00	6.14	11.32	5.34	8.00	10.00	8.66				684.37			
前週(小児科定点当たり人数)	4.00	7.09	11.71	5.33	5.00	10.00			8.73					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2017年9月4日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。